

## 第1学年国語科学習指導案

日時 平成18年11月2日(木)  
対象 1年1組 男14名 女17名 計31名  
1年2組 男14名 女17名 計31名  
指導者 1組 高橋 可奈  
2組 千葉 美紀

- 1 単元名 ちがいを かんがえて よもう  
教材名 どうぶつの赤ちゃん (光村図書1年下「ともだち」)

### 2 単元について

#### (1) 教材について

第1学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながらよむことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」ことである。本教材の読解においては、「時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと(イ)」が、学年の目標に直結する指導内容である。同じく「書くこと」の目標は、「経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、後や文の続き方に注意して分や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。」ことである。本単元においては、「書こうとする題材に必要な事柄を集めること。(イ)」「事柄の順序を考えながら、語と語や文と文との続き方に注意して書くこと。(エ)」が、書くこと的能力を育てるための指導事項となる。

本単元「ちがいをかんがえてよもう」は、対比の視点を明確にし、違いを考えながら書かれていることの大体の内容を読み取ることをねらいとしている。

本教材「どうぶつの赤ちゃん」は、ライオンとしまうまの赤ちゃんについて比較しやすい構成で書かれている。まず、第1段落に2つの問題文が提示され、それに答える形でライオンとしまうまの説明が展開されている。それぞれの説明は、同じような構成で書かれているので、ライオンの説明の読み取りを、しまうまの説明の読み取りに生かすことができる。また、「……にいていません。」と「……そっくりです。」「じぶんでは……できません。」と「じぶんでは……ます。」のように、肯定・否定の表現も対比的に押さえることができる。また、赤ちゃんが大きくなっていく様子が書かれている段落には、お乳を飲んでいる期間や獲物を食べ始める時期など、時間的経過を表す具体的な数値が使われている。1年、30分、7日など児童には身近な数値であることから、時間的な順序、事柄の順序などを考えながら読み取るにも適している。さらには、4種類の挿絵が効果的に配置され、それぞれのどうぶつの特徴を捉えやすくしている。ライオンとしまうまは、生まれたときの大きさ、目や耳の様子、母親と似ているかどうかなどの点で大きく違っている。また、その後の育っていく様子も成長した姿からは想像がつかないくらい異なっている。この意外性により、児童は意欲を持って読み進めることができるものとする。

#### (2) 児童について

これまでに児童は、「いろいろなくちばし」の学習で、挿絵を手がかりにして読んだり、それぞれのくちばしの特徴を発見したりしながら、書かれていることの大体を読み取る活動を行った。この説明文の読み取りを通して、「問題 答え」という基本的な文章の構成を学んだ。その後、自分の調べたい鳥のくちばしについて観察したり、本で調べたりして絵と文にまとめ「とりのくちばしずかん」を作った。また、「じどう車くらべ」の学習では、問題提示の文を受けて、「しごと」「つくり」の二つの視点に着目して読む活動を行った。さらに、自分の好きな自動車についての本を読んで「じどう車くらべ」の構成を参考にした説明文を書き、「じどう車ずかん」を完成させた。これらの学習を通して、挿絵と文を結びつけながら読んだり、問題提示の文に書かれていることを意識しながら読み取ろうとする態度が身につけてきている。しかし、叙述に即して読む力には、個人差が大きく、文章から外れ、自分の興味や推測、直感で読もうとする児童もいる。中には拾い読みの段階の児童もいる。

正しく読み取るための一人学びとして、線引き、抜き書き、挿絵、等、書く活動を中心に行っている。意欲的に取り組む児童が多く、学習するたびに自力でできる児童が増えてきている。しかし、まだ個別指導の必要な児童も数名いる。また、一人学びによって、その後の学び合いも活発になりつつあるが、自分の考えに自信をもてない児童や、初めに発言した児童の意見に左右されてしまう児童もいる。

学び合いをより活発にするために、「話し方名人」「聞き方名人」を目指し、「はっきり話すこと」「しっかり聞くこと」を国語の時間だけでなく他教科でも指導中である。まだまだ十分ではないが、意識する子が増えてきている。また、友達の考えのよさを見つけようという気持ちも育ちつつある。

### (3) 指導について

指導にあたっては、導入段階で動物の赤ちゃんについてのクイズを出したり、写真や挿絵を提示したりすることにより、動物の赤ちゃんに対する関心意欲を持たせたい。また、動物の赤ちゃんについて知っていることや教材文を読んだ初発の感想を発表しあい、これからの学習への意欲を高めたい。その際事前に動物の赤ちゃんについてのアンケートを取り、それをもとに意図的に指名する等どの子も話し合いに参加できるように配慮したい。

また、単元全体のねらいを知らせるとともに学習の見通しをしっかりと持たせたい。学習のゴールを「どうぶつずかんをつくろう」とし、そのことを目指して学習を進めていくよう意欲付けをしたい。

内容を読み取る段階では、冒頭の二つの問題文を常掲し、どの問題文について読み取っていくのが対応させながら読み進めていくようにさせたい。また、生まれたばかりの様子には、大きさ、目や耳の様子、親と似ているかどうか、と視点が3つある。大きくなっていく様子にも、移動(歩く)ときの様子、お乳を飲む期間、自分でえさをとって食べる時期、と視点は3つである。どちらの動物についても、読みの視点をはっきり示し、叙述に即して読み取らせていきたい。その際、どの子にも重要語句を正しく捉えさせるため、全文視写文を用意し、一緒に確認作業を行っていきたい。また、動物の特徴をはっきり捉えさせるために挿絵と文を結びつける活動を行うほか、写真なども活用したい。

一人学びとしては、読みの視点に沿って重要語句や文を見つけサイドラインを引く活動、話し合ったことや板書をもとにして学習シートに重要語句を書き抜く活動を行う。全文視写文を活用したり、板書を学習シートと同じ様式にしたりして、どの子にも分かるよう工夫したい。

学び合いでは、常に「話し方名人」「聞き方名人」を意識させる。また、挙手した児童だけでなく、挙手できずにいる児童にも意図的に指名したり反応を求めたりして、全員が参加する話し合いを目指したい。その際論理的な面ばかり追及すると、自信をなくす子もいるかと思われる。そこで、知っていることや経験を話させたりする場面も作ることにする。また、内容を読み取った後、感想をペアで、さらには全体で交流させ、互いの良さを認め合う場としたい。

## 3 単元の目標

### (1) 主目標

ライオンとしまうまの赤ちゃんについて、どんなことが、どのように書かれているかを読み取る。いろいろな動物に興味を持って調べ、書いて友達に知らせる。

### (2) 観点別目標

動物の赤ちゃんに関心をもち、進んで読んだり、調べたりしようとする。(関)

ライオンとしまうまの赤ちゃんの特徴や違いなどを考えながら、大体の内容を読み取ることができる。(読 イ)

動物の赤ちゃんについて書くのに必要な事柄を集めることができる。(書 イ)

説明の順序を考え、語と語や文と文の続き方に注意して書くことができる。(書 エ)

主語・述語の照応に注意して読んだり書いたりすることができる。(言 エ)

4 単元の指導計画・評価計画（総時数 13時間）

主な学習活動 （時数）	評価規準 （方法）	具体的評価規準及び指導・支援の手立て	
		おおむね満足できると 判断する視点	努力を要する児童への 指導・支援の手立て
1 - 動物の赤ちゃん について知っている ことを話し合 う。 （1）	関 動物の赤ちゃんについて 知っていることを発表したり、 興味を持って教材文を 読んだりしている。 （発言・態度）	知っている動物の赤 ちゃんについて発表してい る。また、全文を読み感 想を持っている。	動物の赤ちゃんについての クイズを出し、興味・関心を持 たせたり、写真や挿絵を活用し たりしながら、学習を進める。 また、事前のアンケートをもと に、経験や感想を話させる。
1 - 問題提示文を読 み、学習の計画を 立てる。 （1）	読 問題提示文をもとにして 内容を読み取っていくこと を理解し、学習の見通しを 捉えている。 （発言・ノート）	問いかけの文を見つ け、学習のめあては2つ あることを捉えている。	「いろいろなくちばし」や「じ どう車くらべ」で学んだ構成を 思い出させるとともに、前文の 文末に着目させる。
2 - ライオンの赤 ちゃんの生まれたと きの様子を読み取 る。 （1）	読 ライオンの赤ちゃんは、 弱々しくお母さんにあまり にいていないということを読 み取っている。 （発言・サイドライン・ 学習シート）	ライオンの赤 ちゃんの体の大きさ、目や耳の 様子、母親との比較につ いて読み取り、感想を持 っている。	3つの読みの視点を示し、そ のことが書いてある箇所を見 つけさせる。教材文を提示し、 一緒に確認作業を行いながら 読み取らせていく。
2 - ライオンの赤 ちゃんの大きくなっ ていく様子を読み 取る。 （1）	読 ライオンの赤ちゃんは、 親の保護のもと大きくなっ ていくことを読み取ってい る。 （発言・サイドライン 学習シート）	事柄の順序に沿って、 ライオンの赤ちゃんの 大きくなっていく様子 を読み取り、感想を持っ ている。	読みの視点をはっきり示し、 成長の様子を捉えさせる。教材 文を提示し、一緒に確認作業 を行いながら読み取らせていく。 時間や順序を表す言葉を確 かめる。
2 - しまうまの赤 ちゃんの生まれたと きの様子を読み取 る。 （1） 2組本時	読 しまうまの赤ちゃんは、 お母さんにそっくりである ことを読み取っている。 （発言・サイドライン 学習シート）	しまうまの赤 ちゃんの体の大きさ、目や耳の 様子、母親との比較につ いて読み取り、感想を持 っている。	3つの読みの視点を示し、そ のことが書いてある箇所を見 つけさせる。教材文を提示し、 一緒に確認作業を行いながら 読み取らせていく。挿絵も活用 する。ライオンの赤ちゃんの読 み取りを想起させる。

<p>2 - しまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子について読み取る (1) 1組本時</p>	<p>読 しまうまの赤ちゃんの成長の様子を読み取っている。 (発言・サイドライン学習シート)</p>	<p>事柄の順序に沿ってしまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子を読み取り、感想を持っている。</p>	<p>1つ1つの視点を確かめ、成長の様子を捉えさせる。教材文を提示し、一緒に確認作業を行いながら読み取らせていく。ライオンの赤ちゃんの読み取りを想起させる。</p>
<p>2 - ライオンとしまうまの赤ちゃんの違いをまとめる。 (1)</p>	<p>読 ライオンとしまうまの赤ちゃんの違いをまとめている。 (発言・学習シート)</p>	<p>ライオンとしまうまの赤ちゃんについて、観点に沿ってまとめている。</p>	<p>前時までの学習を掲示等を使って想起させる。観点を提示し、比較しながらまとめさせる。</p>
<p>3 - 他の動物の生まれたときの様子や成長していく様子について調べる。 (1)</p>	<p>書 図書資料から動物の赤ちゃんについて書かれているところを探し、メモに書いている。 (メモ)</p>	<p>動物の赤ちゃんについて調べ、生まれたときの様子、または、大きくなっていく様子について書き写している。</p>	<p>動物の赤ちゃんについての図書資料をできるだけ多く準備する。資料の見方や書き写す箇所については、個別に援助する。</p>
<p>3 - 動物図鑑カードを書く。 (2)</p>	<p>書 動物の赤ちゃんの特徴を動物図鑑カードに書いている。 (動物図鑑カード)</p>	<p>メモをもとに、主語・述語を正しく照応させて動物の特徴をカードに書いている。</p>	<p>今までの学習の掲示やカードのモデルを提示し、書き方を理解させる。</p>
<p>3 - 動物図鑑カードを読み合い、感想を交流する。 (3)</p>	<p>読 動物図鑑カードを読み合い、感想を交流している。 (発言・発表)</p>	<p>動物図鑑カードを見せながら調べたことを発表したり、友達のカードについて感想を話したりしている。</p>	<p>友達の良さを見つけながら発表を聞くようにさせるとともに、教師も一人一人の良さを認め、意欲と自信を持たせる。</p>

5 本時の指導（1組）6/1 3時間

（1）目標

しまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子について読み取り感想を書くことができる。

（2）仮説との関連

手立て1に関わって

- ・一人学びでは、サイドラインを引かせたり学習シートを活用したりして自分の読みを持たさせる。
- ・学び合いでは、しまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子について読み取った後、感想を交流し合い、互いの良さを認め合う場とする。

手立て2に関わって

- ・しまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子をとらえさせるために、前時までの学習シート（掲示）を活用してライオンと対比したり、挿絵や写真等を提示したりする。
- ・しまうまの赤ちゃんが「できるようになること」や「その時期」等、重要語句を正しく捉えさせるために教材文を提示し確かめながら学習を進める。

（3）展開

段階	学習活動 主発問・予想される児童の反応	教師の支援（評価）
つかむ 3分	<p>1 前時までの学習内容を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。 しまうまの赤ちゃんは、どのようにして大きくなっていくのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭の二つの問題文を提示し、内容を読み取るための指針とする。前時の学習を掲示で振り返り、本時につなげる。</li> <li>・ライオンの赤ちゃんが大きくなっていく様子を写真や掲示等で振り返り、本時の学習への意欲付けをする。</li> </ul>
ふかめる 37分	<p>3 課題解決の見通しを持つ。 （1）段落を音読する。（一斉読み） （2）段落ごとに音読する。（指名読み）</p> <p>4 学習課題を解決する。 （1）しまうまの赤ちゃんが「できるようになること」を確かめる。 しまうまの赤ちゃんは、どんなことができるようになるのですか。 ・自分で立ち上がる。 ・走るようになる。 （・逃げることができる。） （2）できるようになる時期について一人学びをする。 できるようになるのはいつかが分かる言葉を見つけましょう。 ・「自分で立ち上がります」・・・生まれて三十分もたたないうちに ・「走るようになります」・・・次の日には  （3）できるようになる時期やその理由を学び合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1度目は、本時の学習範囲を確認するために全員で音読させる。2度目は、「しまうまの赤ちゃんは、どんなことができるようになるのか」を讀みの視点とし、段落ごとに音読させる。（指名読み）</li> <li>・全文視写文を使って、一つ一つの事項を確認しながら学習を進める。</li> <li>・挿絵も活用する。</li> <li>・それぞれの事柄ができるようになるのはいつかを表す言葉にサイドラインを引かせ、成長の早さに着目することができるようにさせる。</li> <li>・「三十分もたたないうちに」と「三十分」の違いを考えさせたり、「次の日には」という言葉を取り上げたりして、叙述に即して読むことができるようにさせる。</li> </ul>

	<p>(4) しまうまの赤ちゃんの食べ物確かめる。 しまうまの赤ちゃんの食べ物は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おちち</li> <li>・おちちと草</li> </ul> <p>(5) お乳だけ飲んでいる時期について一人学びをする。 お乳だけ飲んでいるのはどれぐらいの間が分かる言葉を見つけましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七日ぐらい</li> <li>・たった七日ぐらいの間</li> </ul> <p>(6) 食べ物について学び合う。</p> <p>5 しまうまの赤ちゃんの成長の様子について感想を書き、交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習のライオンと比較することにより、しまうまの成長の早さを捉えさせる。</li> <li>・全文視写文を使って、確かめながら学習を進める。</li> <li>・お乳だけ飲んでいる時期を表す言葉を見つけてサイドラインを引かせる。</li> <li>・「たった七日」と「七日」を比べたり、「そのあとは～ものみますが、じぶんで～」という言葉を取り上げたりして、叙述に即して読むことができるようにさせる。</li> <li>・板書の音読で学習したことを振り返った後、しまうまの赤ちゃんが大きくなっていく様子についての感想を書かせる。</li> <li>・その後、ペア及び全体で感想を交流し合うことによりお互いを認め合う場としたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>おおむね満足できると判断する視点 事柄の順序に沿って、しまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子を読み取り、自分の感想を書くことができたか。</p> </div> <p>【支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つ一つの視点を確かめ、成長の様子を捉えさせていく。教材文を提示し、一緒に確認作業を行いながら読み取らせていく。ライオンの赤ちゃんの読み取りを想起させる。</li> </ul>
<p>まとめる</p> <p>5分</p>	<p>6 学習のまとめをする。</p> <p>(1) まとめの音読をする。(一斉読み)</p> <p>(2) 本時の学習を振り返り、自己評価をする。</p> <p>7 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習を振り返り、学習内容の読み取りを実感させる。また、学習の成果を認めることにより満足感を味わわせる。</li> <li>・次時は、「ライオンとしまうまの赤ちゃんを比べ違いをまとめる」ということを知らせる。</li> </ul>

(4) 評価規準

【読む能力】 しまうまの赤ちゃんの成長の様子を読み取っている。

( 5 ) 板書計画

# じぶんじぶん赤ちゃん

しまじまの赤ちゃんは、どの赤ちゃんよりも大きくなっているのじぶんじぶん。

## 写真視写文

生まれて三十分もたないうちに  
じぶんじぶん立ち上がる

そして

次の日は  
はじめる

だから

じぶんじぶんがじぶん

## 視写文

おちちだけのんではいるのは  
たった七日ぐらいのあいだ

そのあとは

おちちものむ  
じぶんじぶん草もたへる



5 本時の学習（2組） 5 / 13 時間

(1) 目標

しまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子について読み取り感想を書くことができる。

(2) 仮説との関連

手立て1に関わって

- ・一人学びでは、サイドラインを引かせたり学習シートを活用したりして自分の読みをもたせる。
- ・学び合いでは、しまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子について読み取った後、感想を交流し合い、互いの良さを認め合う場とする。

手立て2に関わって

- ・しまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子をとらえさせるためにライオンの赤ちゃんと比較しながら動作化したり、写真を提示する。
- ・重要語句を正しくとらえさせるために教材文を提示し確かめながら学習を進める。

(3) 展開

段階	学習活動 主発問 ・ 予想される児童の反応	教師の支援（評価）
つかむ3分	<p>1 前時までの学習内容を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>しまうまの赤ちゃんはうまれたばかりのときは、どんな様子をしているのでしょうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭の問題文の2文を色分けして提示し、内容を読み取るための指針にする。</li> <li>・しまうまの赤ちゃんの写真をみせ、ライオンの赤ちゃんとの違いを視覚で感じ取らせ、内容を読み取るようとする意欲を喚起する。（写真1）</li> </ul>
ふかめる37分	<p>3 課題解決の見通しを持つ。</p> <p>(1) 段落を音読する。（一斉読み）</p> <p>(2) 段落毎に音読する。（指名読み）</p> <p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 課題解決のための着眼点を考える。 ライオンの赤ちゃんの生まれたばかりの様子ではどんなことについて考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ</li> <li>・目や耳は</li> <li>・お母さんと比べて</li> </ul> <p>(2) 生まれたばかりの様子について一人学びをする。 しまうまの赤ちゃんが生まれた時の様子はどんな様子でしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ...やぎぐらい</li> <li>・目や耳...目はあいている。</li> <li style="padding-left: 20px;">耳はピンと立っている。</li> <li>・おかあさんとくらべて...そっくり</li> </ul> <p>(3) 生まれたばかりの大きさについて学び合う。 「やぎぐらい」ってどのぐらいの大きさなのでしょう。</p> <p>(4) ライオンの赤ちゃんと比較して読み取る。 どうして「もうやぎぐらい」と「もう」がついているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライオンの赤ちゃんはこねこぐらいだった。</li> <li>・ライオンと比べて、もう大きいから。</li> </ul> <p>ライオンの赤ちゃんはお母さんにあまり似ていなかったけれど、しまうまの赤ちゃんは、</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉読、指名読各1回ずつとする。（めあてを与える。）</li> <li>・文章構成を確認しながら音読を聞くようにさせる。</li> <li>・ライオンの赤ちゃんの学習を振り返らせ、読み取りの視点をつかませる。</li> <li>・それぞれの事柄について書いてある文にサイドラインを引かせ、生まれたばかりの大きさについて着目できるようにさせる。</li> <li>・全文視写文を使って、事柄を確認しながら学習を進める。</li> <li>・読み取ったことが自分の言葉として獲得できたかどうか確かめるために動作化を取り入れる。その後、実物大の絵を用意して大きさをつかませる。</li> <li>・「ぐらい」や「もう」の働きについて考えさせ、叙述に即して読むことができるようにさせる。</li> <li>・教師が間違っ様子を提示することで発表意欲を喚起し、文章に着目させる。</li> </ul>

	<p>お母さんに似ていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にている。</li> <li>・しまのもようもついていて、お母さんにそっくりです。</li> </ul> <p>5 しまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子について感想を書き、交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライオンとしまうまの様子について交互に動作化を取り入れ、既習のライオンとの違いをとらえられやすくする。</li> <li>・しまうまの赤ちゃんの写真をみせ、赤ちゃんの特徴をとらえられるようにする。 (写真2)</li> <li>・板書の音読で学習したことを振り返った後、感想を書かせる。</li> <li>・ペア及び全体で感想を交流し合うことによりお互いを認め合う場としたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おおむね満足できると判断できる視点 しまうまの赤ちゃんの体の大きさ、目や耳の様子、母親との比較について読み取り、自分の感想を書くことができたか。</p> </div> <p>【支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの読みの視点を示し、そのことが書いてある箇所を見つけさせる。教材文を提示し、一緒に確認作業を行いながら読み取らせていく。ライオンの赤ちゃんの読み取りを想起させる。</li> </ul>
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 学習のまとめをする。 (1) まとめの音読をする。(一斉読)</p> <p>(2) 本時の学習を振り返り、自己評価をする。</p> <p>7 次時の学習の見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習を振り返り、学習内容の読み取りを実感させる。また、学習の成果を認めることにより満足感を味わわせる。</li> <li>・次時は、しまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子について読み取ることを知らせる。</li> </ul>

(4) 評価規準  
【読む能力】 しまうまの赤ちゃんは、お母さんにそっくりであることを読み取っている。

(5) 板書計画

写真2	大き さ      やぎぐらい 目や耳      あいている ピンと立っている おかあさん      そっくり とくらべて	全文視写文	写真1	どうぶつの赤ちゃん しまうまの赤ちゃんは、 生まれたばかりのときは、 しょうすきをいけるので う。
-----	---	-------	-----	---